

各校においては、特別な教育的援助を必要とする児童生徒に対する「個別の教育支援計画」が、個人の課題の状況に応じて作成されていることと思います。不登校をはじめとして困っている児童生徒への援助を行うときにも、同様に「理解シート」（資料Ⅰ）「援助チームシート」（資料Ⅱ）を作成し、当該児童生徒の欠席状況や、具体的な援助策などを共有し、組織的、計画的に支援を行いましょ。資料の「理解シート」と「援助チームシート」は、例示です。学校や地域の実態等に応じて、作成してください。

○ 「理解シート」を作成しましょう（資料Ⅰ）

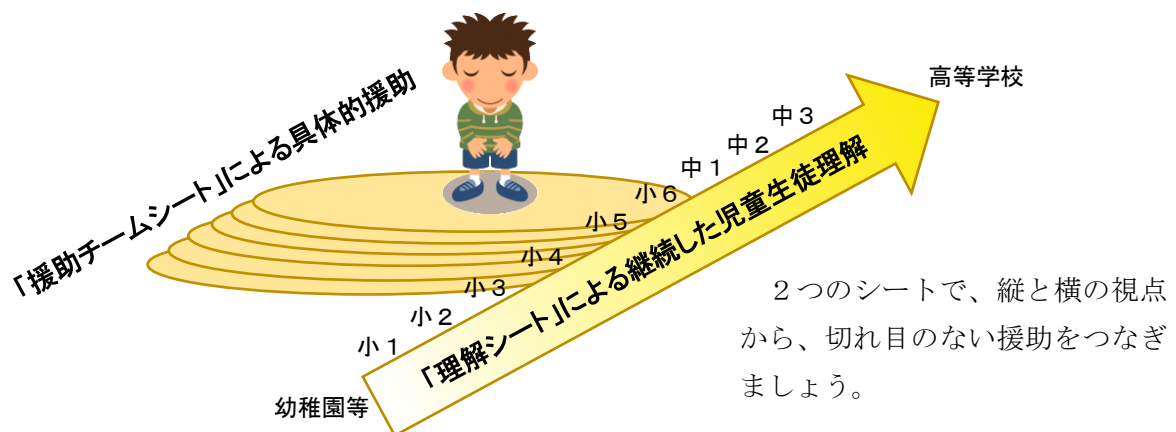
困っている不登校の児童生徒に適切な援助を行うためには、関係する教員等による**主観的な視点**、出席の状況やアンケート等による**客観的な視点**、児童生徒本人の立場に立った**共感的な視点**の3つの視点から、的確に理解し、アセスメント(児童生徒の状況やよいところ、必要としている援助などを適切に見極めたり、見立てたり)する必要があります。

そこで、「理解シート」を使って児童生徒の情報を整理し、関係者で共有しましょう。作成した「理解シート」は、必要に応じて随時更新しましょう。「理解シート」は、進級や進学の際には、生徒指導の記録として、引き継いでいきましょう。

○ 「援助チームシート」を作成しましょう（資料Ⅱ）

当該児童生徒に関わる担任や保護者、コーディネーター、生徒指導主事、SC、SSWなどによって構成する「援助チーム」を結成しましょう。「援助チームシート」は、不登校の児童生徒への具体的な援助を検討する際に使用するシートです。

チームで行う会議のイメージは、児童生徒を救うための「**作戦会議**」です。児童生徒の状況を複数の目で整理し、援助方針を定め、いつまでに誰がどのような援助を行うことができるのかを明確にして、組織的・計画的に援助にあたりましょう。必要に応じて、本人も会議に参加し、援助方針や援助の内容を検討しましょう。



【 よりよい援助チームとなるために 】

- チームの構成員（教員、保護者、SC・SSWなど）が共通の目標を立てましょう。
- 構成員が、それぞれの専門性と立場を生かして、困っている児童生徒を総合的に理解し、効果的に援助しましょう。
- 構成員は、担任、保護者など援助者の子どもへのかかわりを支え、援助力を高めましょう。